

内部統制に関する取組

平成27年度の実績	平成28年度を取組
<p>■業務方法書を改正し、内部統制システムを再構築</p> <p>(1) 内部統制委員会、リスク管理委員会、コンプライアンス委員会の設置</p> <p>(2) 役職員行動指針の策定 若手・中堅職員による「行動指針策定タスクフォース」を設置し、各部署で実施した職員参画のワークショップでの議論を踏まえ策定</p> <p>(3) 不適正な契約手続きの再発防止 ①契約に係る事業担当部署から契約担当部署への事前付議・スケジュール管理の徹底 ②契約書等への理事長（契約担当役）印の押印手続におけるチェックの徹底 ③出納手続における契約担当部署等と出納担当部署との内部牽制の確立 ④コンプライアンスの推進（関連規程の整備、コンプライアンス委員会の設置） ⑤内部監査部署による契約監査の実施</p> <p>(4) 役職員の意識・教育の徹底 ①不適正な契約手続きの再発防止対策のグループウェア等による周知徹底 ②不適正な契約手続きの再発防止を徹底するための説明会の実施 ③外部講師を活用した全役職員を対象のコンプライアンス研修会の実施 ④決裁、契約手続等の適正な実施に関する定期的な注意喚起</p> <p>(5) 「運営点検会議」の設置</p>	<p>■内部統制システムに係る取組方針</p> <p>・業務方法書に沿って内部統制システムの点検・整備を推進</p> <p>・昨年度を取組状況をフォローアップ（改善状況の確認）</p> <p>・内部統制に関する取組状況を踏まえ、必要な見直しを実施（PDCAサイクルの確立）</p> <p>(1) 内部統制システム構築に関する取組 業務方法書に記載する内部統制システムに関する事項について、優先順位をつけて計画的に整備を進める。</p> <p>(2) 「リスク管理基本計画」に基づくリスクへの対応 「リスク管理基本計画」に基づく重点対応リスクについて、リスクの顕在化を防止するための取組を推進する。</p> <p><平成28年度 重点対応リスク> ①契約管理に関するリスク、②新国立競技場建設に関するリスク、 ③情報漏えい・情報流出に関するリスク、④自然災害に関するリスク</p> <p>(3) 役職員の意識改革 「JSC 役職員行動指針」の浸透と内部統制・コンプライアンスに係る研修等を通じ、役職員の意識改革に取り組む。</p>
<p><新国立競技場整備計画経緯検証委員会の報告を踏まえた対応></p> <p>(1) 組織体制の強化 ①プロジェクトマネージャーの設置 ②新国立競技場整備体制の強化（専門的知識を有する者を含めた職員の増員）</p> <p>(2) 広報・情報発信機能の強化 ①担当理事を窓口とし、専門的知識を有する職員が連携して適時適切に情報を発信 ②毎月の定例ブリーフィングを実施（平成28年1月～）</p>	<p>(4) 内部監査体制の整備 業務が多岐に渡っている JSC の特性を踏まえ、内部監査をより効果的に実施するため、内部監査体制を整備する。（内部監査規程の見直し、モニタリング手法の工夫等）</p>